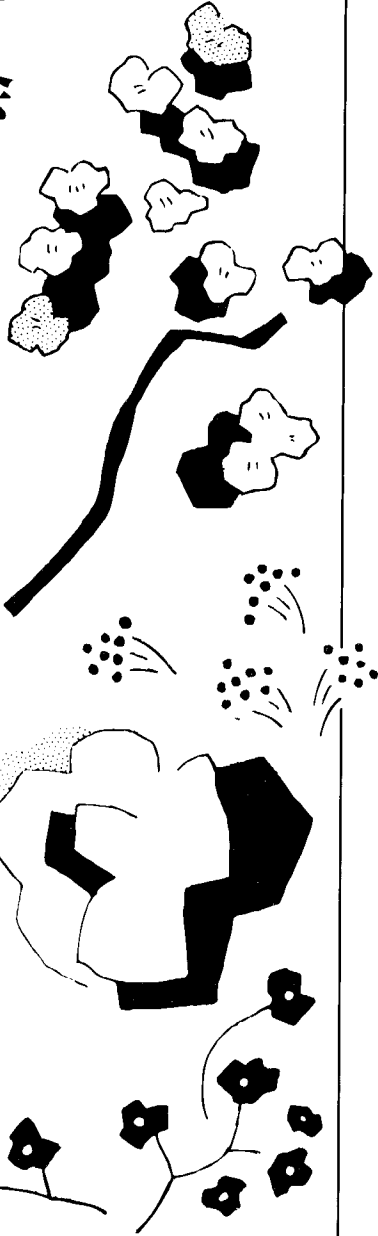
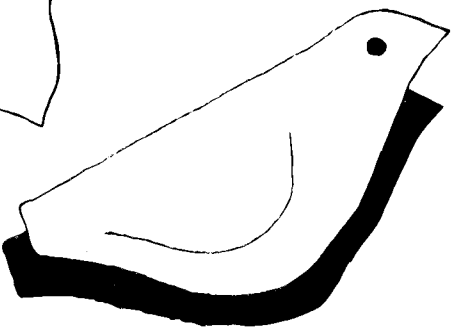
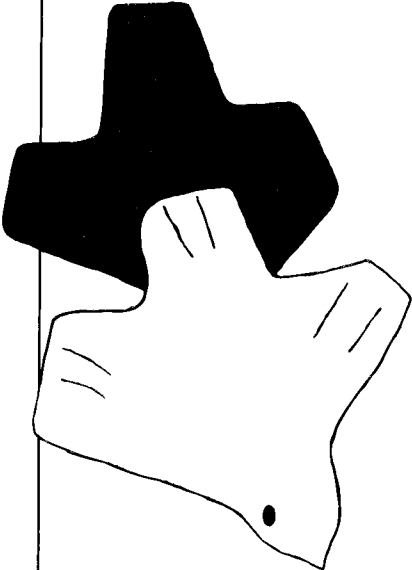




# 鎌倉交響樂團

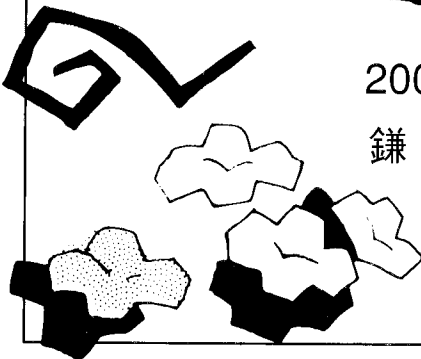
## 第75回定期演奏会

[後援] 鎌倉市教育委員会



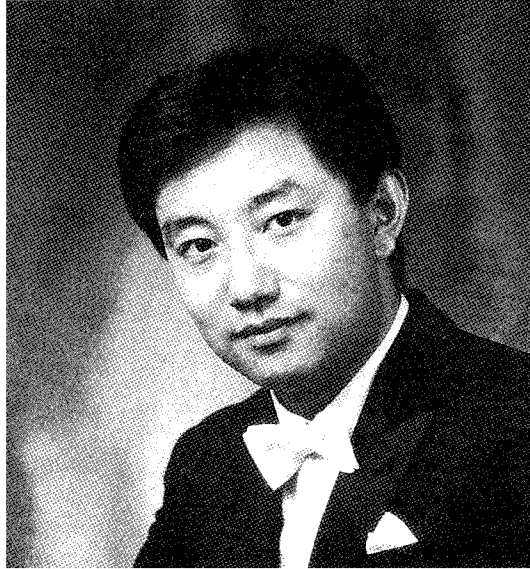
2000年5月20日(土) 2:00p.m.

鎌倉芸術館



# プロフィール

## 指揮 / 三原明人 (みはら あきひと)



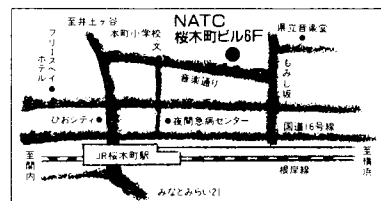
1961年、東京生まれ。東京芸大でヴィオラを学び、桐朋学園、ウィーン国立音大で指揮法を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、カール・エステルライヒャー、ヴァーツラフ・ノイマン各氏に師事。1989年、オランダのキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールで第2位。アムステルダムでオランダ放送フィルを指揮してデビューしたのを振り出しに、これまでにドイツ・ハレ国立フィル、ブダペストMAV響、ソフィア・フィル、フィンランド・クオピオ響、東京都響、読売日響、日本フィル、札幌響、群馬響、神奈川フィル、名古屋フィル、大阪センチュリー響、広島響など、ヨーロッパと日本を中心に各地のオーケストラに客演。1997年クオピオ響の来日公演では、オール・シベリウス・プロを指揮して高い評価をえた。また、名古屋二期会など、オペラの分野にも積極的に活動。愛知県立芸大オケの指揮者を務めるなど、後進の育成にもつとめた。

鎌響には昨年、萩の第九でも共演、今回で4度目の客演となる。

◆今回の演奏会にあたり、大野守、小泉智彦、高山泰利、竹鼻江美子、戸澤哲夫、松村正春、山城雅之(アイウエオ順)の諸先生方にもご指導いただきました。

《製作・修理・毛替・販売》

# 弦楽器工房かわばた



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町3-96-4 NATC桜木町ビル6F ●営業時間/AM10:00~PM7:00(日・祭休み)

# 鎌倉交響楽団第75回定期演奏会

[指揮] 三原明人

## 海—三つの交響的スケッチ

*La Mer - Trois Esquisses Symphoniques*

クロード・ドビュッシー

*Claude Debussy*

1. 海の曙から真昼まで  
*I. De l'aube a` mide sur la mer*
2. 波のたわむれ  
*II. Jeux de vagues*
3. 風と海との対話  
*III. Dialogue du vent et de la mer*

----- 休憩 *Intermission* -----

## 交響曲第7番ホ長調

*VII. Symphonie E-dur*

アントン・ブルックナー

*Anton Bruckner*

- 第1楽章 アレグロ・モデラート  
*1. SATZ Allegro moderato*
- 第2楽章 アダージョ、極めて荘厳に、極めてゆっくと  
*2. SATZ Adagio. Sehr feierlich und sehr langsam*
- 第3楽章 スケルツォ、極めて速く  
*3. SATZ Scherzo. Sehr schnell*
- 第4楽章 フィナーレ、活発にかつ速くなく  
*4. SATZ Finale. Bewegt, doch nicht schnell*

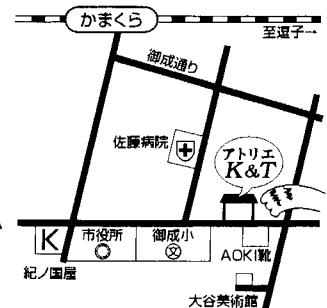
世界で一番小さいデパート



# アトリエ K&T

古布ちりめんの香袋など  
オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、  
両手いっぱいにはります!

営業時間 / 11:00a.m. ~ 5:30p.m. 定休日 / 日曜日  
〒248-0012 鎌倉市御成町6-24 TEL.0467-22-2615



## ドビュッシー：「海」—三つの交響的スケッチ

歌や言葉と同じニュアンスを用いて、人間のロマンチックな感情(喜怒哀楽)を音で表そうとしたロマン派(ベートーヴェンの後期、ブラームス、シューベルト等)の後、フランスでドビュッシーに代表される印象派の音楽が生まれました。

印象派は、色彩の中に新たに光線を取り入れたマネやモネのような画家、喜怒哀楽とは異なる感覚(例えば風景が美しいとか)を取り入れたドビュッシーのような作曲家たちのことを指します。従って、印象派の音楽から喜怒哀楽を聞き出そうとすると無理があるようです。歌や言葉としてではなく、目で風景を見るように音楽を耳で聞くと、ドビュッシーの音楽は素直に心のなかに入ってくると思います(文献[1]参照)。

さて、ドビュッシーが友人に宛てた手紙の中に次のような記述があります。「私は船乗りというすばらしい職業につくつもりだったのですが、ちょっとした運命の悪戯から別の道に進むことになりました。しかし、現在も海に対して心からの情熱を持ち続けています。(私は海を前にこの作品を書いている訳ではありませんが)、数え切れない思い出を元に私が書いているのがこの曲です…。」また、ドビュッシーが1楽章の題を『サンギネールの島々の美しい海』から『海の曙から真昼まで』に変更したことは注目される。伝記作家によると「1楽章の変更前の表題に『サンギネールの島々の美しい海』が選ばれたのは、『美しい』という言葉と『サンギネール(血みどろな)』という言葉の対照のためであり、サンギネール諸島周辺の海の印象を伝えるためではなかった」そうです。

『海』は、印象派の魔術を使って海を生き生きと描写した作品です。しかし、ドビュッシーの手紙と伝記作家の報告から、この作品が単に自然を模倣しただけのものではないことが分かります(文献[2]参照)。海の印象を通してドビュッシーの想いがみなさまに伝わるよう、心を込めて演奏させていただきます。

### 参考文献

- [1]小澤征爾他著, "斉藤秀雄講義録", pp.12-15, 白水社
- [2]『海』ミニチュアスコア解説より, 音楽之友社

## ブルックナー：交響曲第7番ホ長調(ノヴァーク版)

オーストリアのリンツ近郊の小さな農村に生まれたブルックナーは、敬謙なカトリック教徒であり、教会オルガニストでした。故郷のザント・フロリアン、リンツ大聖堂を経て、7番の初演の頃には、ウィーン宮廷礼拝堂オルガニスト(兼ウィーン音楽院教授)となっていました。

しかし、当時まだ作曲家としては無名で、7番までに習作も含めた8つの交響曲がありましたがウィーンでの評価は散々で、演奏を断られたり、時には自費でオーケストラを雇ったり、演奏しても聴衆が居なくなってしまったり。そこでブルックナーは、「書いても演奏されない」ので、「演奏してもらえよう書き直そう」と、作曲活動の傍ら、自作の「改訂」作業にも励みます。また、周囲も「これでは売れない」だの「長すぎる」だの、何かと手を入れます。おかげで、ブルックナーの曲には、同じ曲でも様々な「稿」や「改訂版」が生まれ、「原典版」とされる楽譜ですら2つの版(ノヴァーク版とハース版=校訂者の名前)が存在する事態となります(ブルックナーファンにとっては楽しみのひとつ)。

しかし、交響曲を書き始めて苦節20年、ようやくブルックナーの曲に陽が当たります。

この第7番は、ブルックナーがあこがれていたワーグナーの死(1883年)への葬送の気持ちを込め作曲されます。この曲にウィーン音楽院の後輩で弟子筋のヨーゼフ・シャルクが目を付け、積極的な売り込み活動をし、彼は、あえて地元ウィーンでの初演を避け、ドイツのライプツィヒへ赴き、新進気鋭の指揮者アルトゥール・ニキシュ(後のベルリン・フィル指揮者)に初演を依頼し快諾を得ます。

ニキシュもまた、この曲に惚れ込み、ブルックナーと頻繁にやり取りをし、初演のために異例の5回もの練習を行い(当時は1~2回が常識)、時には練習にブルックナーをよび、事前に評論家を集めて作品の講釈をし、初演に先立ちピアノ譜による演奏会を開き、という具合。この過程で、テンポ設定や2楽章にシンバル等を加えるなどのニキシュの提案が採用されますが、「版」の問題が生じるのはこの個所くらいで、基本的にブルックナーの草稿のまま初演されます。

# 解説

初演は1884年12月30日、結果「大成功」というのが通説ですが、実はヨーゼフから初演の報せをウィーンで受け取った兄のフランツ・シャルクが、手紙の良いところだけを脚色して新聞社に送り付けた、というのが真相のようです。3ヶ月後ミュンヘンで再演。こちらは正真正銘「大成功」し、ブルックナーは「作曲家」として認められるようになりました。(J.S)

編成(管楽器は適宜アシスタントが付くことがある)

フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、

ホルン4、ワーグナーチューバ4(ホルン奏者が吹く: 実は初演時には調達できなかったらしい)

トランペット3、トロンボーン3、チューバ

ティンパニ、シンバル、トライアングル

弦5部

## ●楽器ひとくちメモ●

### 【ワーグナーチューバ】

#### 「楽劇で生まれた楽器 ～ワーグナー・チューバ～」

今回使われている珍楽器の代表選手「ワーグナー・チューバ」をご紹介します。この楽器は、ワーグナーが楽劇《ニーベルングの指輪》(1876年 初演)のために考案したもので、形はチューバそっくりですが、管がぐんと細いのが特徴です。ワーグナーはチューバの音をとても好んでいました。しかし、チューバの音は重厚過ぎてメロディーを吹くのは難しいので、ホルンのようにロマンチックな演奏ができ、かつブラスセクションの補強役も果たし得るような楽器を望んでいました。今日見られるような形態に落ち着くまでに、実に二十年以上の歳月をかけて考え出されたそうですが、ワーグナー以降、ストラヴィンスキー、ブルックナー、リヒャルト・シュトラウスが好んで自分の曲にこの楽器を採用するようになりました。

現在のオーケストラではホルン奏者が受け持つことになっていますが、実はこの楽器は野趣溢れる暖かい音で人を魅了する反面、演奏技術面では音程のコントロールが大変難しく息も余計に必要とする等、ホルン吹き泣かせの楽器でもあります。象徴的なコメントを2つ御紹介しておきましょう。(下記)

#### ◇【日本の某有名プロオーケストラホルン奏者(当団員が師事)】談より

ブルックナーの7番のワーグナーチューバ(特に1番)は要注意ですよ。あらゆるワーグナーチューバのパートの中で最も重要で、最も大変なパートです。

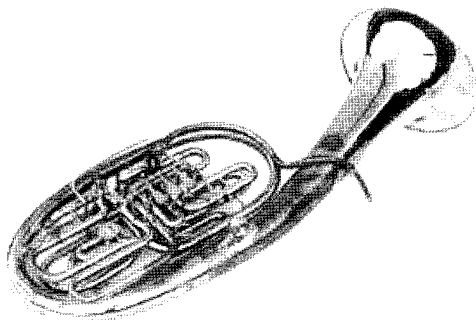
自分一人で吹いている分にはカンタンなのですが、いざオケと合わせると、チューバセクションだけが浮いていたり、沈んでいたりしてね。ウチでやったときもおよそ誉められたことはありません。その上、楽器が殆ど音程があるのかなのか解らないようなもので(どれでも)その点でも苦労します。

#### ◇【英国の某有名プロオペラ座管弦楽団ホルン奏者】談より

ワーグナー・チューバはこの上なく吹き甲斐のある楽器であるが、同時に極めて危なっかしい代物でもあるので、たとえギヤラの上乗せがあったとしても演奏を引き受けるのは気が進まない、と思うことがあるかもしれない。

[出典]P・ブリッチャード編 山田淳訳「ホルニストという仕事」(春秋社)

本日は演奏が無事に済みますように皆様の暖かいお心で見守って下さい。by H.F.



団員出演者名簿

常任指揮者：古谷 誠一  
 名誉団長：日比谷 平一郎  
 団長：山本 賢二

コンサート・マスター：五味 俊哉  
 事務局：田中 幸一  
 副団長：河原 寛/島中 正志

マネージャー：芳賀 節子/前沢 実  
 会計：曾根 民子  
 ライブラリアン：三門 サカエ

**1st Violin**  
 池田 真美  
 井上 康男  
 宇多 綾子  
 遠藤 勝智  
 小原 治子  
 ●河原 寛  
 桐本 圭三  
 ●五味 俊哉  
 曾根 民子  
 中村 順子  
 馬場 潔子  
 日高理恵子  
 平野 京子  
 八木 育江

**2nd Violin**  
 新井 俊成  
 有田 静  
 大嶋 武也  
 川西 清美  
 ●白水 千晶  
 菅井 直介  
 ●高橋けい子  
 高橋 良子

富岡 陽子  
 中橋美木子  
 中村 裕子  
 西村靖之助  
 芳賀 節子

**Viola**  
 箴島 純子  
 小原 克馬  
 ●澤田 淳也  
 澤田 由美  
 清水 正義  
 田中 智康  
 十枝はるか  
 中村 恵  
 島中 正志  
 日比谷平一郎  
 三門サカエ  
 ●水上 清

**Cello**  
 天辰有紀子  
 天辰 庸介  
 新井 宣子  
 ●飯田 達男  
 射場 寛子  
 上田 和男  
 大熊 若菜  
 河原 究  
 志村 篤子  
 鈴木 達広  
 中井 良樹  
 山田 由紀

**Bass**  
 青木 俊憲  
 大内 達郎  
 ◇河原田 潤  
 原 宏造  
 福島 晋哉  
 矢野 健  
 ◇吉田千夏子  
 ●渡辺 均

**Piccolo&Flute**  
 菊竹 秀夫  
 ●曾根 美樹  
 高橋 弘子  
 山田美奈子

**Oboe**  
 紅林 優志  
 桑野 若菜  
 竹本 哲也  
 ●中橋 英純  
 山本 賢二

**Clarinet**  
 伊澤 力  
 片山真知子  
 鈴木 美緒  
 前沢 実  
 ●望月 俊哉

**Bassoon**  
 ●松木 祐子  
 ◇松木 葉子  
 ◇森 繁和  
 矢吹 紀子

**Horn**  
 芥川 敬  
 臼井 賢司  
 ◇佐々木智一  
 ●佐藤 仁樹  
 芳我 朋子  
 藤岡 浩之  
 山崎 和之  
 山田 克彦

**Trumpet**  
 ●清水 里美  
 津金 勝栄  
 福地 稔太  
 ◇本多 森 久仁子

**Trombone & Tuba**  
 有賀 功  
 ●桜井 貴志  
 日高 隆雄  
 府川 創作  
 藤本 功  
 ※煤孫 さえ子

**Percussion**  
 明村 直美  
 ●太田 純  
 ◇竹島 悟史  
 蓑田 俊之

**Harp**  
 ◇杉山 敦子  
 ◇野畑 潤子

●：パートリーダー  
 ◇：賛助出演  
 ※：団友

鎌倉交響楽団 演奏会のご案内

- ◆ サマーコンサート 指揮/横島勝人  
 「パールギユント」より抜粋、「フィンランディア」他  
 8月6日(日)午後2時開演 鎌倉芸術館 入場無料
- ◆ 第29回室内楽演奏会  
 鎌響団員によるアットホームで多才なアンサンブル・コンサート  
 8月13日(日)午後2時開演 鎌倉中央公民館 入場無料
- ◆ 第76回定期演奏会 指揮/古谷 誠一  
 メンデルスゾーン 交響曲第3番「スコットランド」、ストラビンスキー「火の鳥」他  
 11月18日(土)午後2時開演 鎌倉芸術館

鎌響団員募集

コントラバス  
 ファゴット  
 打楽器  
 (各パート若干名)

オーケストラ経験のある方

お問い合わせ  
 0467-25-3512 田中 方

通勤・通学服もおしゃれ着もすべて1日70K!!

ドライクリーニングのクイックサービス 午前中にお出し下されば夕方迄に仕上ります

ファッション クリーニング  
**スピード・クイック**

- AM9:00~PM7:00 (日曜定休) 鎌倉由比ヶ浜店(22)1501 茅ヶ崎十間坂店(85)9209
- 逗子 本店(71)3293 鎌倉大町店(25)3722 茅ヶ崎共恵店(85)7310
- 逗子 駅前店(73)8114 鎌倉深沢店(32)2751 茅ヶ崎矢畑店(86)6607
- 逗子ハイランド店(72)1131 藤沢 店(22)5595 茅ヶ崎茶屋町店(87)2168

鎌倉の駅を通過して  
道すがら  
若宮大路の左角  
『酒まん処』ここに有り  
長年・新 次夫 飯頭



松風堂本座  
鎌倉市小町1-5-24  
☎ 0467-22-0666

フランス料理



小町園

横須賀線下馬ガード脇  
TEL. (22) 2370

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2  
(やのヤビルB1)  
TEL.(0467)22-4105  
茅ヶ崎市中海岸1-1-58  
(大層ビル1F)  
TEL.(0467)87-1145

カフェ & レストラン



Saloon The Lime  
SINCE 1980 KAMAKURA

鎌倉駅西ロイヤルヤビル2F  
TEL. 25-1421

信頼と確かな技術の店  
メガネの専門店

八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネの事ならなんでも相談  
お気軽に。

- 遠中近多焦点レンズ
- 中近多焦点レンズ
- 近近用レンズ

あなたに合ったメガネ  
を御調整致します。



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689  
(22) 8963

健保・労災取扱

大船  
接骨院

佐藤元一

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

☎0467(45)6700(代)

輸入楽譜専門店

速い...安い...親切...

全国すぐ郵送します。



KAMAKURA  
MUSIC

カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766

FAX.0467-22-9755

〒248 鎌倉市雪の下1-10-5

1st Ave. Kamakura 3F

定休日=木・祝祭日

クラリネット

レッスンしてみませんか?  
(フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307

川下方 TEL 045-865-4885

片山クラリネット教室

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻科クリニック

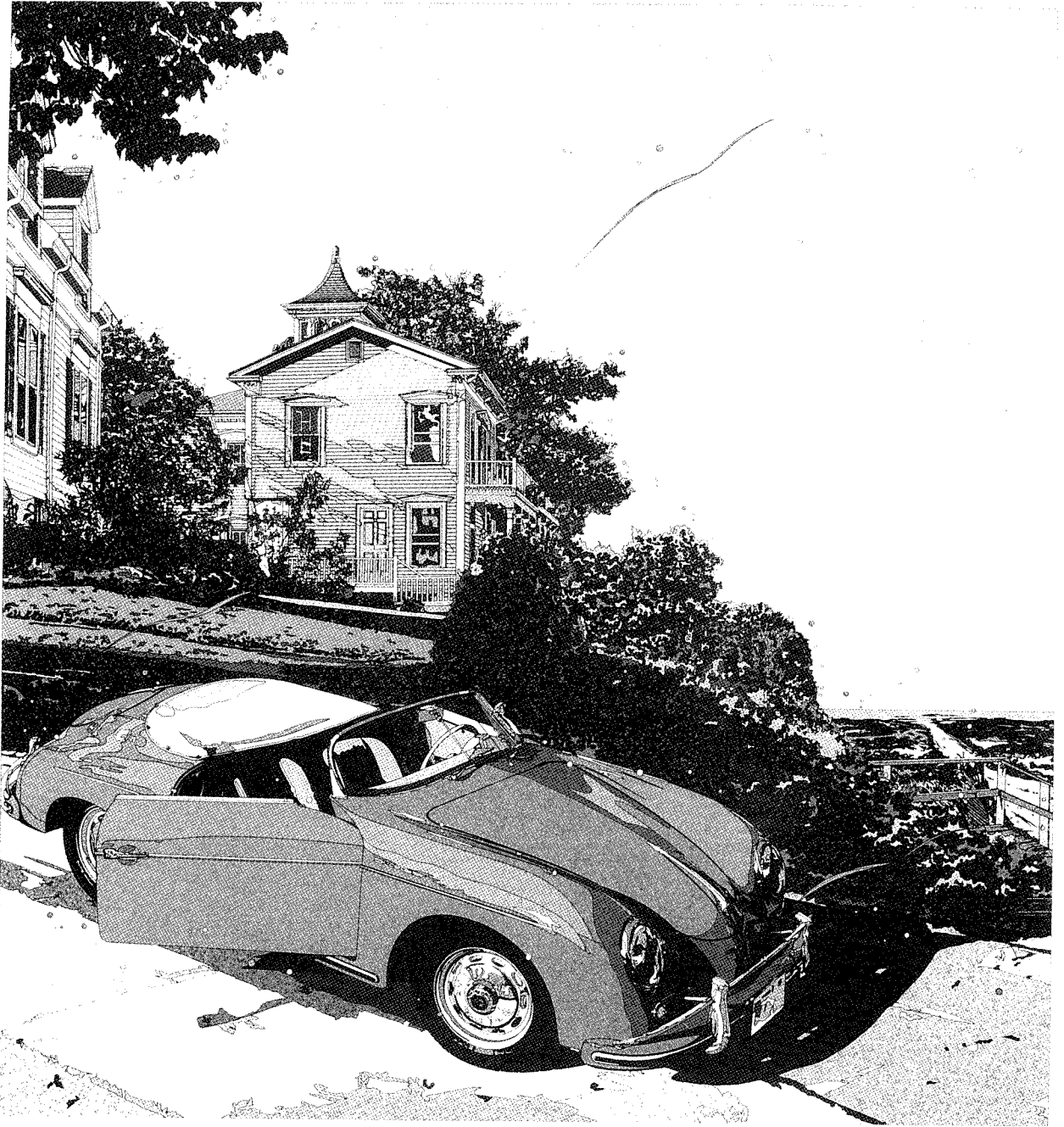
鎌倉・小町壺番館ビル3階

医師 芋川正彦

電話 (24)7273

芋川英紀

GOOD DAY 湘南



© EIZIN SUZUKI

SHONAN

湘南しんきん

<http://www.shinkin.co.jp/shonan>